

令和7度

学習シラバス



新座市立第三中学校

1 学年

各教科の1年間の学習内容や目標、評価の観点などが記載されています。

各教科は、このシラバスに基づいて学習を進めていきます。



創立40周年記念マスコットキャラクター

Sunちゃん

第1年 教科名（国語）の学習について（シラバス）

◎教科の目標

- ・基礎的な学力の定着を図る。
- ・言語についての知識を身につけさせ、理解できるようにさせる。

◎生徒にがんばってほしいこと

- ・丁寧な日本語を話すこと。
- ・正しく聞き取ったり、理解したりすること。
- ・主述の整った文を書くこと。（話し言葉と書き言葉の違い）
- ・漢字小テストの取り組み。

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<p>朝のリレー 言葉に会うために 野原は歌う 声を届ける</p> <p>1. 学びをひらく はじまりの風 季節のしおり 春 情報聞き取り、要点を伝える 話の構成を工夫しよう 漢字の組み立てと部首</p> <p>2. 新しい視点で ダイコンは大きな根？ ちょっと立ち止まって 情報整理のレッスン 情報を整理して説明しよう 漢字に親しもう 2</p> <p>3. 言葉に立ち止まる 空の詩 三編 様々な表現技法 比喻で広がる言葉の世界 言葉 3 様々な表現技法 言葉の集めよう 文法への扉 1 読書を楽しむ 硬筆</p>	<p>4. 心の動き 大人になれなかった弟たちに… 星の花が降るころに 項目を立てて書こう 聞き上手になろう</p> <p>5. 筋道を立てて 「言葉」を持つ鳥、シジュウカラ 根拠を明確にして書こう 文法への扉 2 大阿蘇 季節のしおり 秋</p> <p>6. いにしえの心にふれる いろは歌 古典の世界 蓬萊の玉の枝―「竹取物語」から 今に生きる言葉</p> <p>書き初め</p>	<p>7. 価値を見いだす 「不便」の価値を見つめ直す 話題や展開を捉えて話し合おう 漢字に親しもう 4 読書に親しむ</p> <p>8. 自分を見つめる 少年の日の思い出 文法への扉 3 二十歳になった日 構成や描写を工夫して書こう</p> <p>一年間の学びを振り返ろう 漢字の成り立ち ぼくがここに</p>

観点

1. 主体的に取り組む態度 ……

取り組みの様子、発表、課題の内容、まとめレポートによる理解度の深まりなど。

2. 思考・判断・表現 ……

(話す・聞く) 話し合い、スピーチ、聞き取りテスト、討論会、ビブリオバトルなど。

(書く) 意見文、手紙、物語文など様々な文章を書く能力。ノートの取り方やまとめ方。定期試験の記述問題など。

(読む) 作品の理解(読み取り)、定期試験の文章問題など。

3. 知識・技能 ……

漢字・語句の知識理解、文法の理解、書写の技能、漢字テスト、暗唱など。定期試験の記述問題など。

観点別評価 【 A・B・C 】の3段階

A おおむね8割以上の達成度 B おおむね4割以上の達成度 C それ以外

第1学年 社会科の学習（シラバス）

◎社会科の目標

・広い視野に立って、社会に対する関心を高め、諸資料に基づいて多面的・多角的に考察し、我が国の国土と歴史に対する理解と愛情を深め、公民としての基礎的教養を培い、国際社会に生きる平和で民主的な国家・社会に形成者として必要な公民的資質の基礎を養う。

◎生徒にがんばってほしいこと

地理的分野では、世界の様々な地域の学習に取り組みます。内容は世界の地域構成・世界各地の人々の生活と環境・世界の諸地域（アジア・ヨーロッパ・アフリカ・北アメリカ・南アメリカ・オセアニア）・世界の様々な地域の調査学習です。教科書・地図帳、資料集を活用する力をつけてほしいと考えています。また歴史的分野では、「世界の古代文明と日本の国家の形成」から始まり近代の日本の「江戸幕府の政治の特色」までの学習に取り組みます。すべての事柄には歴史的な連続性や先人のより良い生活を営むための苦勞、工夫、科学的な考え方、あるいは文化的な考え方、感じ方があることに関心を深めてほしいと思います。そのためにも「なぜ？」と考える習慣を養ってほしいものです。

社会科は、暗記教科などと言われることがありますが、本来は自分の考え方を鍛える教科です。授業で学んだことについて、自分はどう思うかを問いかけてながら、勉強をしてほしいと思います。

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
(地理的分野) I 世界と日本の地域構成 1 世界の姿 ・私たちの住む地球を眺めて ・いろいろな国の国名と位置 ・緯度と経度 ・地球儀と世界地図の違い 2 日本の姿 ・世界の中での日本の位置 ・時差でとらえる日本の位置 ・日本の領域とその特色 ・都道府県と県庁所在地 II 世界のさまざまな地域 1 人々の生活と環境 ・世界の様々な生活と環境 ・暑い地域の暮らし ・乾燥した地域の暮らし ・温暖な地域の暮らし ・寒い地域の暮らし ・高地の暮らし ・世界各地の衣食住との変化 ・人々の生活と宗教の関わり (歴史的分野) 1 歴史へのとびら ・時期や年代の表し方 ・歴史の流れのとらえ方 ・時代の特色のとらえ方 2 古代までの日本 ①世界の古代文明と宗教のおこり ・人類の出現と進化 ・古代文明のおこりと発展 ・中国文明の発展 ・ギリシャ・ローマの発展 ・宗教のおこりと三大宗教 ②日本列島の誕生と大陸との交流 ・旧石器時代と縄文時代の暮らし ・弥生時代の暮らしと邪馬台国 ・大王の時代	(歴史的分野) 2 古代までの日本 ③古代国家の歩みと東アジア世界 ・聖徳太子の政治改革 ・東アジアの緊張と律令国家への歩み ・律令国家の成立と平城京 ・奈良時代の人々の暮らし ・天平文化 ・平安京と律令国家の変化 ・摂関政治の時代 ・国風文化 (地理的分野) II 世界のさまざまな地域 2 世界の諸地域 ①アジア州 ・自然環境 ・農業・文化と経済発展 ・経済成長を急速に遂げた中国 ・最も近い隣国、韓国 ・経済発展を目指す東南アジア ・産業発展と人口増加が急速に進む南アジア ・資源が豊富な中央アジア・西アジア ②ヨーロッパ州 ・自然環境 ・文化の共通性と多様性 ・EUの成り立ちとその影響 ・農業とEUの影響 ・工業とEUの影響 ・EUが抱える課題 ③アフリカ州 ・アフリカ州の自然環境 ・歴史と文化 ・特定の輸出品に頼るアフリカ経済 ・抱える課題とその取り組み ④北アメリカ州 ・自然環境 ・移民の歴史と多様な民族構成 ・大規模な農業と多様な農産物 ・世界をリードする工業 ・アメリカ合衆国にみる生産と消費の問題	⑤南アメリカ州 ・自然と環境 ・多様な民族・文化と人々の生活 ・大規模化する農業と成長する工業 ・ブラジルにみる生産と消費の問題 ⑥オセアニア州 ・自然と環境 ・移民の歴史と多文化社会への歩み ・他地域と結び付いて発展する産業 (歴史的分野) 3 中世の日本 ①武士の政権の成立 ・武士の成長 ・院政から武士の政権へ ・鎌倉幕府の成立と執権政治 ・武士と民衆の生活 ・鎌倉時代の文化と宗教 ②ユーラシアの動きと武士の政治の展開 ・モンゴル帝国とユーラシア世界 ・モンゴルの襲来 ・南北朝の動乱と室町幕府 ・東アジアの交流 ・産業の発達と民衆の生活 ・応仁の乱と戦国大名 ・室町文化の広がり 4 近世の日本 ①ヨーロッパ人との出会いと全国統一 ・中世ヨーロッパとイスラム世界 ・ルネサンスと宗教改革 ・ヨーロッパ世界の拡大 ・ヨーロッパ人との出会い ・織田信長・豊臣秀吉による統一事業 ・兵農分離と秀吉の対外政策 ・桃山文化

◎評価について

1 「主体的に学習に取り組む態度」の評価 (1) 授業規律 ①チャイム着席 ②授業道具の用意 ③授業態度 (3) レポート・ファイル（ノート）・ワーク等の内容…学期1回程度	(2) 授業中の発言、発表の内容 (4) 定期テスト・単元テストの結果など
2 「社会的な思考・判断・表現」の評価 (1) 定期テスト・単元テストの結果 (2) レポート・ファイル（ノート）・ワーク等の内容…学期1回程度 (3) 授業中の発言・発表内容など	
3 「社会的事象についての知識・技能」の評価 (1) レポート・ファイル（ノート）・ワーク等の内容…学期1回程度 (3) 授業中の発言・発表内容など	(2) 定期テスト・単元テストの結果
4 評定について 上記の1～3の観点別評価を総合して評定を出す	

第1学年 数学科の学習（シラバス）

◎数学科の目標 （生徒像）

- ・積極的に授業に参加できる生徒
- ・計算やグラフ、作図が正確に確実にできる生徒
- ・最後まであきらめず、粘り強く考えることができる生徒
- ・他人の考え方をしっかり聞き、互いに協力できる生徒

◎生徒に頑張ってもらいたいこと

数学が楽しく学習できるよう授業を大切に取組んでほしいと思っています。まず、家庭で少しでもいいので復習を行うことが大切です。さらに、数学が数楽となるように楽しく数を学べるように学習していこう。数字に興味関心を持ってほしいと思います。数の美しさ、答えを導くことの喜びを感じてほしいと思っています。数学は計算なしには成り立たないので、計算力をしっかり身につけていけるよう毎回の授業での小テストを真剣に取り組んでください。

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ・オリエンテーション ・小学校の復習 0章 整数の性質 1章 正の数・負の数 <ul style="list-style-type: none"> ・正の数・負の数 ・正の数・負の数の計算 ・正の数・負の数の利用 2章 文字の式 <ul style="list-style-type: none"> ・文字を使った式 ・文字式の計算 ・文字式の利用 3章 方程式 <ul style="list-style-type: none"> ・方程式 ・方程式の利用 	<ul style="list-style-type: none"> 4章 変化と対応 <ul style="list-style-type: none"> ・関数 ・比例 ・反比例 ・比例と反比例の利用 5章 平面図形 <ul style="list-style-type: none"> ・直線と図形 ・移動と作図 ・移動と作図の利用 ・円とおうぎ形 	<ul style="list-style-type: none"> 6章 空間図形 <ul style="list-style-type: none"> ・立体と空間図形 ・立体の体積と表面積 ・空間図形の利用 7章 データの活用 <ul style="list-style-type: none"> ・ヒストグラムと相対度数 ・データにもとづく確率

◎評価・評定

（1）観点別評価について		（2）評価について
①知識・技能	<ul style="list-style-type: none"> ◇各領域で扱う基本的な概念や定理・法則また、用語の意味を理解している ◇いろいろな計算問題や図形の基本的な問題が解ける 	定期試験（期末、単元テスト）等、提出物（授業ノート、問題集、宿題、振り返りシートなど）等を各観点について総合的に判断する。
②思考・判断・表現	<ul style="list-style-type: none"> ◇多様な考えで問題を解こうとする ◇既習事項を活用して関連付け問題を解くことができる 	5：十分満足できるもののうち、特に程度が高い 4：十分満足できる 3：おおむね満足できる 2：努力を要する 1：一層努力を要する
③主体的に学習に取り組む態度	<ul style="list-style-type: none"> ◇他の観点を身につけるため粘り強い取り組みを行おうとする ◇上記のことを行う中で、自らの学習を調整しようとする 	

第1学年 理科シラバス

○ 教科の目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しをもって観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

- (1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。
- (3) 自然の事物・現象に進んで関わり、科学的に探究しようとする態度を養う。

観点	育成を目指す資質・能力
知識及び技能	・自然の事物・現象に対する概念や原理・法則の理解、 ・科学的に探究するために必要な観察・実験等の技能
思考力、判断力、表現力等	・科学的に探究する力
学びに向かう力、人間性等	・科学的に探究しようとする態度

○ 学習内容

理科A	理科B
単元2 身のまわりの物質 1章 さまざまな物質とその見分け方 2章 気体の発生 3章 水溶液の性質 4章 物質の状態変化	単元1 いろいろな生物とその共通点 1章 生物の観察と分類 2章 植物の体の共通点と相違点 3章 動物の体の共通点と相違点
単元4 大地の成り立ちと変化 1章 大地の歴史と地層 2章 火山活動と火成岩 3章 地震と大地の変化 4章 大地の躍動と恵み	単元3 光・音・力 1章 光の性質 2章 音の性質 3章 力のはたらき

※本校では、「理科A」・「理科B」の2つに分け、2分野並行型で授業を進めます。

※1年生の理科の授業は1週間に3時間あります。

理科A・理科Bを1時間ずつ行い、もう1時間は理科Aと理科Bを隔週で行います。

第1学年【英語科】 シラバス

1学年の目標

英語学習を通して言語や文化への関心を高め、自ら学ぶ学習態度をつける。聞くこと、話すことなどの実践的コミュニケーション能力の基礎を養うと同時に積極的にコミュニケーションを図ろうとする態度の育成と異文化を理解する広い視野を身につける。

小学校の学習を基礎として、言語の使用場面や言語の働きを更に広げた言語活動を行う。第1学年における学習内容を繰り返して指導し定着を図るとともに、事実関係を伝えたり、物事について判断したりした内容などの中からコミュニケーションを図れるような話題を取り上げる。

評価の観点・方法

【評価の観点】

- (1) 知識および技能
- (2) 思考力、判断力、表現力等
- (3) 学びに向かう力、人間性等

【評価の方法】

- (1) 言語活動への態度・意欲
(観察・自己評価)
- (2) 定期テスト・小テスト・会話テスト等の結果
- (3) 授業中の発言・コミュニケーションへの積極性
- (4) 言語活動中の発話内容(観察法)
- (5) ノートなどの提出物の内容、忘れ物、授業態度

特色ある学習方法

- 1) 英語学習への興味付けをする。(英語の歌・英検・スピーチコンテスト・基礎英語の情報提供)
- (2) 基礎・基本の定着を目指し、チャイム着席・忘れ物点検を毎時間行う。聞いたり、話したりする力を伸ばす。
- (3) 積極的なコミュニケーション能力を高めるために、振り返りシートを用い、ビンゴや暗唱、スキット作成などに力を入れる。

	学習すること	学習のねらい
4	Starter1 コミュニケーション アルファベット・辞書の使い方 Lesson1 About me	・小学校で学んだことをもとに、自分の好きなものや行ってみたい場所などについて、簡単な英語を聞いたり話したりすることができる。 ・アルファベットの形、綴り、発音との関係などを理解できる。 ・辞書の引き方を身につける。 ・自分の名前や好きなことについて、簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に書くことができる。
5	Lesson2 My Hero	・あこがれの人物の魅力を伝えるために、人物の名前、できることなどを簡単な語句や文で話すことができる。
6	Lesson 3 My Treasure	・自分のことを知ってもらうために、物の特徴について、簡単な語句や文を用いて、事実などを正確に書くことができる。
7	Lesson 4 My Summer Plans	・夏休みにしたいことを知ってもらうために、夏休みにしたいことについて簡単な語句や文を用いて、事実や自分の考えなどを正確に話すことができる。
9	Project1 What am I クイズ Lesson 5 Ms. Brown' s Fmily	・3つのヒントを考え、“What am I?” のクイズを作り、適切に情報を並べ、まとまりのある内容を話すことができる。 ・日本に興味がある海外の人に知ってもらうために、日本で人気があるキャラクターについて具体的な情報をつけ加えて、まとまりのある内容を話すことができる。
10	Lesson 6 School life in the U.S.A.	・アメリカの中学生に日本の学校について知ってもらうために、学校生活や行事について、写真を描写し、詳しい説明をつけ足して、まとまりのある文章を書くことができる。
11	Lesson 7 Athletes with Spirit	・アスリートが大切にしていることをまとめるために、(事実と筆者の考えに着目し、) スポーツの特徴について書かれた記事を読んで、要点を捉えることができる。
12	Project 2 理想のロボット選手権	・自分で考えたロボットについて、特徴を明確にし、まとまりのある文章を書くことができる。
1	Reading Lesson1 Alice and Humpty Dumpty	・物語のあらすじをまとめるために、(場所や話題に着目し、) 不思議の国のアリスの冒険物語を読んで、概要を捉えることができる。
2	Lesson 8 Discover Japan Lesson 9 Emergency food	・絵日記コンテストに応募するために、今年1番の思い出について、感想などを付け加えながら、まとまりのある文章を書くことができる。 ・筆者が伝えたいことをまとめるために、コラムを読んで、要点を捉えることができる。
3	Project3 日本の「昔話」の紙芝居 Reading Lesson2 Sleepy Lord Thunder	・海外の子供たちに紙芝居を見せるために、日本の昔話について、文化や習慣がわかるような説明を加えて、まとまりのある内容を話すことができる。 ・小浜島に伝わる物語を読んで、物語のあらすじを時間経過に沿ってまとめ、概要を捉えることができる。

第1学年 教科名（保健体育）の学習について（シラバス）

■教科の目標

- ・運動に親しみ、主体的に学習に取り組む生徒
- ・健康や安全に留意して、健康の増進と体力向上に努めることのできる生徒

◎生徒にがんばってほしいこと

- ・体力向上に努める
- ・集団としての学習規律を守る
- ・課題を発見し、主体的に学習に取り組める
- ・苦手なことや嫌いな種目でも進んで取り組める
- ・係などの分担された役割を果たせる

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 ○体育理論 ○陸上競技 (短距離走・リレー) ○器械運動 (マット運動) ○水泳 ○新体力テスト ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> ○体づくり運動 ○ダンス ○球技 (バレーボール・ソフトボール) ○陸上競技 (長距離走) ○体育祭の取り組み ○保健 	<ul style="list-style-type: none"> ○体育理論 ○柔道 ○球技 (サッカー・バスケットボール) ○保健

◎評価について

評価の観点は、知識・技能、思考・判断・表現、主体的に学習に取り組む態度、の3観点とする。

知識・技能	単元ごとの技能の到達度や記録値 定期テスト
思考・判断・表現	学習カード内容、活動内容（課題解決の取り組み）、 設定された活動を自分なりに工夫し行動や言葉として表出される姿勢など
主体的に学習に取り組む態度	授業の用具の準備・片付けをしっかりと行っているか。 授業への課題解決に向けて進んで取り組もうとする姿勢 提出物の有無

令和6年度 第1学年 音楽科の学習（シラバス）

◎音楽科の目標 （生徒像）

- ・授業を通して音楽の楽しさを体感し、音楽への興味・関心を持つ
- ・音楽の楽しさや美しさを感じ、表現する技術を身につけ、自分の音楽を表現しよう
- ・様々な音楽に親しもう

◎生徒に頑張してほしいこと

- ・授業を真剣に受ける態度
- ・歌唱や合唱、器楽での、基礎的な技術力
- ・積極的に工夫しながら作っていく創作活動への姿勢
- ・自ら楽しみ味わう鑑賞の態度
- ・表現や鑑賞に必要な音楽の基礎的な知識・理解

◎学習内容

1 学期	2 学期	3 学期
<ul style="list-style-type: none"> ○オリエンテーション <ul style="list-style-type: none"> ・級友とともに歌う喜びを味わい、音楽学習への意欲・態度を育てる 「校歌」 「We'll Find The Way」 ○イメージと音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴を捉え、鑑賞する能力を高める 「春」 ○リズムに親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・ボディーパーカッションの演奏を通してリズムの表現力を高める ○響きのある歌声 <ul style="list-style-type: none"> ・混声合唱の響きや発声法について学ぶ ・混声合唱の基礎を学び、歌えるようにする 「パフ」等 	<ul style="list-style-type: none"> ○混声3部合唱に親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・校内合唱祭への取り組みを通し、表現力を高め、合唱を愛好する心情を育てる 「夢の世界を」「クラス曲」 ○イメージと音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・音楽の特徴を捉え、鑑賞する能力を高める 「魔王」 ○日本の歌を歌いごう <ul style="list-style-type: none"> ・詩と音楽が一体となった美しさを感じ取って表現する 「赤とんぼ」「浜辺の歌」 ○創作活動 <ul style="list-style-type: none"> ・まとまりのある旋律をつくろう 「My Melody」 	<ul style="list-style-type: none"> ○日本の伝統音楽に親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・日本の楽器に親しみ、日本の伝統音楽を愛好する心情を育てる 実技「さくらさくら」 鑑賞「箏曲六段の調」 ○映画音楽に親しもう <ul style="list-style-type: none"> ・場面を想像しながら鑑賞する 「ジョーズ」ほか ○アジアの音楽 <ul style="list-style-type: none"> ・アジア各地の伝統音楽について知り、日本との共通点や相違点を感じ取り味わう

◎評価・評定について

・評定

実技テスト、筆記テスト、鑑賞レポート、提出物、授業観察等をもとに、総合的に評価します

・観点別評価

- | | |
|-----------------|---------------------------------|
| 〈知識・技能〉 | 授業観察、実技テスト、筆記テスト、ワークシート、鑑賞レポート等 |
| 〈思考・判断・表現〉 | 授業観察、筆記テスト、ワークシート、鑑賞レポート等 |
| 〈主体的に学習に取り組む態度〉 | 授業観察、ワークシート、鑑賞レポート、自己評価カード等 |

技術・家庭科（技術分野）シラバス

技術・家庭科で目指すこと

☆ 技術・家庭科の目標 ☆

見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身に付けることをねらいとしています。

☆ 技術分野の目標 ☆

技術の見方・考え方を働かせ、技術に関する実践的・体験的な活動を通して、技術によってよりよい生活や持続可能な社会を構築する資質・能力を身に付けることをねらいとしています。

☆ 技術・家庭科の授業でどんな学力をつけるのか ☆

- 生活と技術についての基礎的な知識や技能を身に付ける。
- 生活や社会の中から問題を見つけ、解決策を考え、その実践の評価・改善をするなど、課題を解決する力を身に付ける。
- 将来にわたって生活を工夫したり、創造したりしようとする気持ちを身に付ける。

3年間で学習する内容【1、2年生】 ()内の数字は授業時数

第一学年	生活や社会における技術の役割 (3)	A 材料と加工の技術 (19)	B 生物育成の技術 (13)
第二学年	D 情報の技術 (デジタル化による情報処理のしくみ) (16)	C エネルギー変換に関する技術 (照明機器の製作) (19)	
第三学年	D 情報の技術 (プログラムによる計測・制御、双方向性のあるコンテンツのプログラミング) (17.5)		

授業の約束事

<p>☆ 持ち物 ☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・教科書（技術・家庭 技術分野） ・筆記用具、技術授業ファイル、タブレット ・その他、授業で指示されたもの <p>※ 教科書は3年間使用します。ノート兼用のプリント、ファイルを配布します。</p>	<p>☆ その他 ☆</p> <ul style="list-style-type: none"> ・授業はジャージ（上下）で受ける。 ・忘れ物をしない。 ・話はしっかり聞く
---	--

評価の観点・方法

技術・家庭科は、「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度」の3つの観点をそれぞれA B Cの三段階で評価をします。

① 知識・技能

テスト（ペーパーテスト、実技テスト）、製作品（製作過程、完成）の様子、発言やレポートの内容などを材料に評価します。

基本的な知識が理解され、それを使った基礎的な技術が身についているかを評価します。

② 思考・判断・表現

学習ノートや発言、レポート（ワークシート、ロイロノート等）の内容、作業計画表や記録カードの内容、テスト（ペーパーテスト、実技テスト）などを材料に評価します。

技術の見方・考え方をはたらかせて、問題を見だし、解決できる力について評価します。

③ 主体的に学習に取り組む態度

授業の取り組みの様子、学習ノートや振り返りカード、作業記録カードの内容、レポート（ワークシート、ロイロノート等）の内容などを材料に多面的に評価します。

自分なりの考え方で解決策を考えたり、その実践を振り返りより、良いものになるよう改善・修正しようとしたりする態度について評価します。

以上の3つの観点を総合し、5段階で評定します。

☆ 各学年での授業・テスト ☆

◎ 1、2年生

前後期制で技術分野、家庭分野を週2時間ずつ行います。定期テストは2学期中間期（10月頃）と学年末にそれぞれの分野の内容の100点満点のテストを行います。通知表の評定は2学期末に前期の分野、3学期末に後期の分野を5段階で評定します。観点についても同様に3段階で評価します。なお、学年評定については両分野を総合した評価・評定を出します。

◎ 3年生

技術分野と家庭分野で週に1時間なので、隔週で分野を入れ替えて交互に学習します。その他は昨年度と同様に、定期テストは各学期末、配点は技術分野50点、家庭分野50点です。通知表の評定は技術分野と家庭分野を合わせて5段階、観点についても同様に3段階で評価します。

技術・家庭科（家庭分野）シラバス

技術・家庭科で目指すこと

☆ 技術・家庭科の目標 ☆

生活の営みに係る見方・考え方や技術の見方・考え方を働かせ、生活や技術に関する実践的・体験的な活動を通して、よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造する資質・能力を身につけることをねらいとしています。

☆ 家庭分野の目標 ☆

- 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な知識と技能を身につける。
- 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を見通して課題を解決する力を身につける。
- 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

☆ 技術・家庭科の授業でどんな学力をつけるのか ☆

- 生活と技術についての基礎的な知識や技能を身につける。
- 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を考え、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を身につける。
- よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を身につける。

3年間で学習する内容

第一学年	B 衣食住の生活 (4) 衣服の洗濯と手入れ (5) 生活を豊かにするための布を用いた制作 (6) 住居の機能と安全な住まい方		
第二学年	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活	B 衣食住の生活 (1) 食事の役割と中学生の栄養の特徴 (2) 中学生に必要な栄養を満たす食事 (3) 日常食の調理と地域の食文化	C 消費生活と環境 (1) 金銭の管理と購入 (2) 消費者の権利と責任
第三学年	A 家族・家庭生活 (1) 自分の成長と家族・家庭生活 (2) 幼児の生活と家族 (3) 家族・家庭や地域との関わり		

授業の約束事

<p>☆ 持ち物 ☆</p> <ul style="list-style-type: none">・教科書（技術・家庭 家庭分野）・ワーク・A4ファイル <p>※ 教科書は3年間使用します。</p>	<p>☆ その他 ☆</p> <ul style="list-style-type: none">・実習（調理・被服）の授業はジャージ（上下）で受ける。・いつもの持ち物以外に、裁縫道具や調理実習の身支度など、必要な時にはその都度連絡します。・1週間に2時間（3年生は2週間に1時間）しかない授業です。集中してしっかり話を聞き、意欲的に取り組みましょう。
---	--

評価の観点・方法

技術・家庭科は、「主体的に学習に取り組む態度」「思考・判断・表現」「知識・技能」の3つの観点をそれぞれABCの三段階で評価をします。

① 知識・技能

【評価方法】テスト（ペーパーテスト・実技テスト）、製作品（製作過程・完成）の様子
発言やレポートの内容などを材料に評価します。

基礎的な知識が理解され、それを使った基礎的な技術が身についているかを評価します。

② 思考・判断・表現

【評価方法】学習ノートや発言、レポート（ワークシート、技家ルーム等）の内容、作業計画表や記録カードの内容、テスト（ペーパーテスト・実技テスト）などを材料に評価します。生活の見方・考え方を働かせて、問題を見だし、解決できる力について評価します。

③ 主体的に取り組む態度

【評価方法】授業の取り組みの様子、学習ノートや振り返りカード、作業記録カードの内容
レポート（ワークシート・技家クラスルーム等）の内容などを材料に多面的に評価
します。自分なりの考え方で解決策を考えたり、その実践を振り返り、より良いものになるよう改善・修正しようとしたりする態度について評価します。

以上の3つの観点を総合し、5段階で評定します。

☆ 各学年での授業・テスト ☆

◎ 1、2年生

技術・家庭科の授業は、前期・後期の2期制です。週1回2時間続きで行います。前期の定期テストは2学期中間、後期のテストは学年末に行います。（配点は100点満点）通知表の評定は、前期は2学期末、後期は3学期末に行います。学年末の評定は技術分野と家庭分野を合わせて、5段階で評定します。観点についても同様です。

◎ 3年生

技術分野と家庭分野を1週間おきに（隔週で）交互に行います。

（年間17.5時間ずつしかありません）

定期テストは各学期末に行います。配点は技術分野50点、家庭分野50点です。通知表の評定は技術分野と家庭分野を合わせて、5段階で評定します。観点についても同様です。

新座座市立第三中学校 令和7年度 第1学年 美術科 シラバス

1. 教科の目標

知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
対象や事象を捉える造形的な視点について理解するとともに、表現方法を創意工夫し、創造的に表すことができようにする。	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。	美術の創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を育み、感性を豊かにし、心豊かな生活を創造していく態度を養い、豊かな情操を培う。

2. 年間計画

学期	題 材 名	学 習 内 容
1	見ることからの発見	身近なものに関心を持ち、よさや美しさを表現することを楽しむ。
	心ひかれる風景	身近な場所を表すことに関心を持ち、感じ取った良さや美しさを表現することを楽しむ。
	人の姿・動き	身近な人に関心を持ち動きやポーズなどから、表したいことを考え表現することを楽しむ。
2	よみがえる材料	身のまわりの材料の形や色彩から創造を広げ、面白さに関心を持ち、表現することを楽しむ。
	生命力を感じて	表したいものの特徴から発想を広げ、生き生きとした姿を表現することに関心をもつ。
	伊藤若冲の世界	作品のよさや美しさを感じ取り、若冲の意図や表現の工夫について考え、若冲の作品を楽しく鑑賞しよう。
3	ロゴマークで印象づける	身近なロゴタイプやシンボルマークに関心を持ち、相手に伝える目的や機能をもとに、ロゴタイプやシンボルマークを考える。

3. 評価の観点 A：「十分満足できる」 B：「おおむね満足できる」 C：「努力をようする」

評価の観点	観点の内容	評価の方法
知識・技能	・対象や自称を捉える造形的な視点について理解している。 ・表現方法を創意工夫し、創造的に表している。	行動観察・対話・表現・作品
思考・判断・表現	造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、美術の働きなどについて考えるとともに、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりしている。	行動観察・対話・表現・記述・スケッチ
主体的に学習に取り組む態度	美術の創造活動の喜びを味わい主体的に表現活動に取り組もうとしている。	行動観察・対話・表現・記録・スケッチ・自己評価表

